



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,176	4.2	3		2		2	
2022年3月期第1四半期	1,129	6.0	4		2		3	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 6百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.82	
2022年3月期第1四半期	5.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	2,786	1,069	38.4	1,528.87
2022年3月期	2,850	1,078	37.8	1,541.65

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,069百万円 2022年3月期 1,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	3.6	14	47.0	16	44.6	10	67.5	14.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	705,500 株	2022年3月期	705,500 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	5,745 株	2022年3月期	5,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	699,755 株	2022年3月期1Q	699,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9
(その他注記事項)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、一昨年来続いた新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)のワクチン接種が進み、まん延防止等重点措置等の解除、経済活動の正常化並びに景気の持ち直しの動きがみられました。一方で、ウクライナ問題や中国のゼロコロナ政策によるロックダウン等の影響、原油などのエネルギー資源や原材料価格、販売価格等の高騰、円安の進行等、景気の先行きを大きく不透明にしております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、コロナ禍における在宅勤務等により家庭内食品に対する需要は底堅く推移いたしました。多くの外食産業がバラエティに富んだテイクアウトを開始したこと等により消費者の選択肢が広がりました。当社グループにおきましては、商談自粛による営業活動の縮小、集客催事の中止や規模縮小が重なり、対面販売をする高額商品(主に健康食品)は苦戦することとなりました。

このような経営環境の下、化学調味料を使わない無添加自然食品専業企業として50年余の年月を積み重ねてきた歴史に信頼をいただいている当社グループは、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』(2020年4月1日～2023年3月31日まで)を作成しました。その最終年度となります当連結会計年度におきましては、オーガニック&プラントベースの分野でカテゴリーNO.1企業を目指し、「withコロナ」を前提とした食品市場における新しい営業活動を想定し、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「調味料」が、ごまドレッシング等の売上減があったものの、マヨネーズ等の売上増により前年同四半期比29百万円増(7.7%増)の4億6百万円、「嗜好品・飲料」が、ポテトチップス等の売上減があったものの、新商品のグミ等の売上増により前年同四半期比18百万円増(8.8%増)の2億32百万円、「副食品」が、一時休止していた鮭ほぐし等の売上減があったものの、有機トマト缶等の売上増により前年同四半期比7百万円増(2.7%増)の2億76百万円となりました。しかしながら、「栄養補助食品」が、ミドリムシ等の売上増があったものの、ハトムギ酵素等の売上減により前年同四半期比2百万円減(7.3%減)の33百万円、「その他」が、虫よけスプレー等の売上増があったものの、歯磨き粉等の売上減により前年同四半期比2百万円減(8.4%減)の26百万円、「乾物・雑穀」が、新商品のプロテイン等の売上増があったものの、もち麦等の売上減により前年同四半期比2百万円減(3.4%減)の69百万円、「油脂・乳製品」が、えごま油等の売上増があったものの、マーガリン等の売上減により前年同四半期比0百万円減(0.5%減)の1億30百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、11億76百万円(前年同四半期比46百万円増、4.2%増)となり、売上総利益率24.9%と前年同四半期比0.3ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は2億97百万円(前年同四半期比8百万円増、2.9%増)となり、営業損益につきましては、営業損失3百万円(前年同四半期は、営業損失4百万円)となり、経常損益につきましては、経常損失2百万円(前年同四半期は、経常損失2百万円)という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円(前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円)となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第1四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	131,370	11.6	130,703	11.1	0.5%減	マーガリン・ペに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油、カメリナオイル
調味料	377,633	33.4	406,811	34.6	7.7%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	214,174	19.0	232,996	19.8	8.8%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)・豆乳・はちみつ製品
乾物・雑穀	71,580	6.4	69,140	5.9	3.4%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末・おから
副食品	269,221	23.8	276,389	23.5	2.7%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	36,181	3.2	33,540	2.8	7.3%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・基石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス・ビタミンC
その他	29,235	2.6	26,787	2.3	8.4%減	トイレットリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー・歯磨き粉・ウイルス対策品など
合計	1,129,398	100.0	1,176,369	100.0	4.2%増	—

② 仕入実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	107,043	12.6	95,618	10.6	10.7%減
調味料	293,927	34.6	315,324	35.0	7.3%増
嗜好品・飲料	162,051	19.1	179,344	19.9	10.7%増
乾物・雑穀	60,455	7.1	62,225	6.9	2.9%増
副食品	171,839	20.2	202,040	22.4	17.6%増
栄養補助食品	26,612	3.0	21,533	2.4	19.1%減
その他	28,717	3.4	25,431	2.8	11.4%減
合計	850,648	100.0	901,518	100.0	6.0%増

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、22億47百万円となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の72百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度並みの5億38百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、27億86百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12百万円減少し、10億77百万円となりました。この主な要因は、「支払手形及び買掛金」の15百万円増加があったものの、「短期借入金」の12百万円減少及び「賞与引当金」の11百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて42百万円減少し、6億38百万円となりました。この主な要因は、「長期借入金」の43百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて55百万円減少し、17億16百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて8百万円減少し、10億69百万円となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の9百万円減少（親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円の計上及び配当総額6百万円）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（2022年5月20日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,366,781	1,294,384
受取手形及び売掛金	665,836	646,582
商品及び製品	220,674	243,225
仕掛品	42	209
原材料及び貯蔵品	23,081	27,952
その他	35,655	35,063
貸倒引当金	△75	△74
流動資産合計	2,311,997	2,247,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	316,147	316,941
減価償却累計額	△260,248	△261,707
建物及び構築物(純額)	55,899	55,233
土地	88,371	88,371
リース資産	36,599	36,599
減価償却累計額	△18,073	△19,405
リース資産(純額)	18,526	17,194
建設仮勘定	1,856	617
その他	203,601	204,803
減価償却累計額	△176,967	△179,367
その他(純額)	26,633	25,435
有形固定資産合計	191,287	186,852
無形固定資産		
その他	12,660	13,031
無形固定資産合計	12,660	13,031
投資その他の資産		
投資有価証券	60,751	61,792
保険積立金	223,327	227,545
繰延税金資産	16,903	16,588
その他	34,174	33,768
貸倒引当金	△807	△915
投資その他の資産合計	334,349	338,779
固定資産合計	538,297	538,664
資産合計	2,850,294	2,786,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,531	476,135
短期借入金	485,887	473,760
リース債務	5,695	5,312
未払法人税等	12,372	3,111
賞与引当金	22,248	10,625
その他	103,205	108,644
流動負債合計	1,089,939	1,077,589
固定負債		
長期借入金	325,480	282,086
リース債務	11,343	10,141
役員退職慰労引当金	127,500	129,800
退職給付に係る負債	183,021	186,979
その他	34,230	29,578
固定負債合計	681,574	638,585
負債合計	1,771,514	1,716,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	117,155	107,482
自己株式	△11,154	△11,154
株主資本合計	1,072,431	1,062,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,349	7,074
その他の包括利益累計額合計	6,349	7,074
純資産合計	1,078,780	1,069,833
負債純資産合計	2,850,294	2,786,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,129,398	1,176,369
売上原価	844,662	883,012
売上総利益	284,736	293,357
販売費及び一般管理費	※ 288,797	※ 297,033
営業損失(△)	△4,061	△3,676
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	963	1,070
仕入割引	797	817
貸倒引当金戻入額	10	—
破損商品等賠償金	47	54
その他	650	687
営業外収益合計	2,474	2,633
営業外費用		
支払利息	1,167	1,029
営業外費用合計	1,167	1,029
経常損失(△)	△2,753	△2,071
特別損失		
固定資産除却損	—	13
保険解約損	232	—
特別損失合計	232	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,986	△2,084
法人税、住民税及び事業税	554	590
法人税等合計	554	590
四半期純損失(△)	△3,541	△2,674
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,541	△2,674

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△3,541	△2,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,097	725
その他の包括利益合計	△3,097	725
四半期包括利益	△6,638	△1,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,638	△1,949
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、当第1四半期の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
荷造運送・保管費	83,720千円	85,133千円
貸倒引当金繰入額	—	106
給料手当及び賞与	69,721	67,601
研究開発費	7,860	9,819
退職給付費用	6,828	5,666
役員退職慰労引当金繰入額	2,300	2,300
賞与引当金繰入額	8,644	10,405

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
減価償却費	5,929千円	5,980千円